

# 藝大フィルハーモニア 管弦楽団

## 定期演奏会



指揮 松本宗利音

Conductor Shurihito Matsumoto

管弦楽 藝大フィルハーモニア管弦楽団

Orchestra The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

2020年 10月9日(金)

19:00開演【学内限定公開】

全席指定(必ず指定のお席にご着席ください)

※一般販売なし(後日配信予定)

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、公演に際しては出演者・スタッフの体調管理、入場者数の制限や換気など必要な感染対策を取り実施いたしますが、ご来場の皆様にも、感染対策へのご協力をお願いしております。「37.5度以上の発熱、咳・呼吸困難、全身の倦怠感その他体調に不安のある方」「新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方」、「マスクを着用されない方」その他ご協力いただけない場合は主催者の判断により入場をお断りいたします(感染対策の詳細は藝大のホームページ、お配りしたご案内などをご参照ください)。

# Program

プログラム

エルガー(1857~1934)：《弦楽セレナード》 ホ短調 作品20  
Edward Elgar:Serenade for string orchestra e minor op.20

第1楽章 アレグロ・ピアチェヴォーレ ホ短調 6/8拍子  
Allegro piacevole e minor 6/8

第2楽章 ラルゲット ハ長調 2/4拍子  
Larghetto C major 2/4

第3楽章 アレグレット ト長調～ホ短調 12/8拍子～6/8拍子  
Allegretto G major～e minor 12/8～6/8

ブラームス(1833~97)：《交響曲第4番》 ホ短調 作品98  
Johannes Brahms:Symphonie Nr.4 e moll op.98

第1楽章 アレグロ・ノン・トロッポ ホ短調 2/2拍子  
Allegro non troppo e moll 2/2

第2楽章 アンダンテ・モデラート ホ長調 6/8拍子  
Andante moderato E Dur 6/8

第3楽章 アレグロ・ジオコーソ ハ長調 2/4拍子  
Allegro giocoso C Dur 2/4

第4楽章 アレグロ・エナージコ・エ・パッショナート ホ短調 3/4拍子  
Allegro energico e passionato e moll 3/4

松本宗利音 指揮 Shurihito MATSUMOTO Conductor



これからの音楽界を担う期待の指揮者の一人と注目されている松本宗利音は、1993年大阪府豊中市生まれ。幼少より音楽、特にヴァイオリンに親しみ、相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属。京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を最優秀賞であるアカンサス賞を受賞して卒業。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和の各氏に、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子両氏に師事。藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。2017年4月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を務めて指揮者としての才能を花開かせ、2019年4月に札幌交響楽団指揮者に就任。これまでに札幌交響楽団はもちろん、大阪交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、東京シティ・フィル、京都市交響楽団、仙台フィル、名古屋フィルに客演。今後も新日本フィル、東京交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルなどとの共演が予定されている。

藝大フィルハーモニア管弦楽団 The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

藝大フィルハーモニア管弦楽団(2016年秋、藝大フィルハーモニアから改称)は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年2回の「定期演奏会」、声楽科との「合唱定期」、オペラ研究部との「オペラ定期」、「新卒業生紹介演奏会」のほか、年末恒例の「チャリティーコンサート・メサイア」(朝日新聞厚生文化事業団・朝日新聞社主催)、「台東第九公演」などを行っている。教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生作品の披露を行っている「モーニング・コンサート」、指揮科学生との演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。前身である東京音楽学校管弦楽団は、我が国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》、チャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》などに加え、ブルックナーの《交響曲第7番》と《交響曲第9番》を本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての活動を果たしてきた。2017年6月には「日本・チリ修好120周年」を記念して、南米チリ公演(4公演)を行い、聴衆を魅了した。(公社)日本オーケストラ連盟準会員。